

平成 29 年度

「地域学校協働活動」の推進

— 共に子供を育て、共に地域を創造する —

(地域学校協働本部推進事業報告書)



教育委員会生涯学習課

目 次

はじめに	1
地域学校協働活動について	2
地域学校協働本部推進会議	4
地域コーディネーター等研修会	5
各回の概要	7
アンケート結果	13
先進地区の資料	
津島市 地域学校協働活動における地域コーディネーターの実際	17
北名古屋市 地域学校協働活動における地域コーディネーターの実際	21
滋賀県竜王町 公民館を核とした学校支援地域本部の取組	25
奈良県奈良市 地域全体で子どもたちを守り育てる	27
地域未来塾について.....	33
地域未来塾実施市町の紹介	
瀬戸市 瀬戸市立光陵中学校 放課後学習	35
豊明市 とよあけ どころ塾	
小牧市 小牧市学習支援事業「駒来塾」	36
犬山市 地域未来塾（犬山学び場「みらい」）	
江南市 江南市こども未来塾	37
大口町 大口町サポートルーム「さくら」	
大治町 大治町立大治中学校区 スタディー サポート クラブ	38
常滑市 常滑市地域未来塾	
大府市 まなポート（大府市中学生学習支援事業）	39
武豊町 ゆめたろう塾（武豊町地域未来塾）	
刈谷市 中高生の居場所「なごみんはあと」なごみん塾	40
みよし市 みよし未来塾	
「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰 被表彰組織の取組	
清須市 子どもと地域をつなぐ絆をつくる～支援から協働へ～	41
一宮市 小中の連携を中心に、地域・家庭・学校が協力し合って、 丹陽町の子どもたちの豊かな学びと育ちの創造をめざしています・・	42
田原市 地域の大人から学び、教えることで大人も学ぶ －共育による地域活性化－	43
平成29年度 「地域学校協働本部」設置状況調査について	44

はじめに

現在、地域における教育力の低下、家庭の孤立化などの課題や、学校を取り巻く問題の複雑化・困難化に対応するために、地域と学校がパートナーとして連携・協働することが必要であり、その組織的・継続的な仕組みの構築が求められております。

平成27年12月の中教審答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」では、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」の推進、その活動を推進する新たな体制として「地域学校協働本部」の整備を提言しています。加えて、平成28年1月の「『次世代の学校・地域』創生プラン」では、地域と学校の連携・協働に向けた改革を着実に実行していくために、教育委員会による地域学校協働活動の推進に係る体制整備や、地域学校協働本部の全国的な整備、地域学校協働活動に係る経費の支援等の予算の充実などの具体的な取組を明示しています。さらに、平成29年3月に社会教育法が改正され、地域と学校をつなぐコーディネーターの役割を期待される「地域学校協働活動推進員」の委嘱ができるようになり、地域学校協働活動を始めた住民主体の地域づくりが、ますます注目されています。

現在、愛知県では、放課後子供教室や土曜日の教育支援活動、地域未来塾などに関わる事業への支援や研修会等を通じて、地域学校協働活動の推進に努めています。そして、こうした事業を契機として、地域と学校との連携強化が図られ、学校の抱える課題の解決、ひいては地域の教育力の向上、地域の活性化につながることを切に願っています。ここに平成29年度の愛知県の取組、関係市町の取組をまとめた報告書を作成いたしました。今後、各市町村において、地域学校協働活動を推進されるにあたり、参考にさせていただければ幸いです。

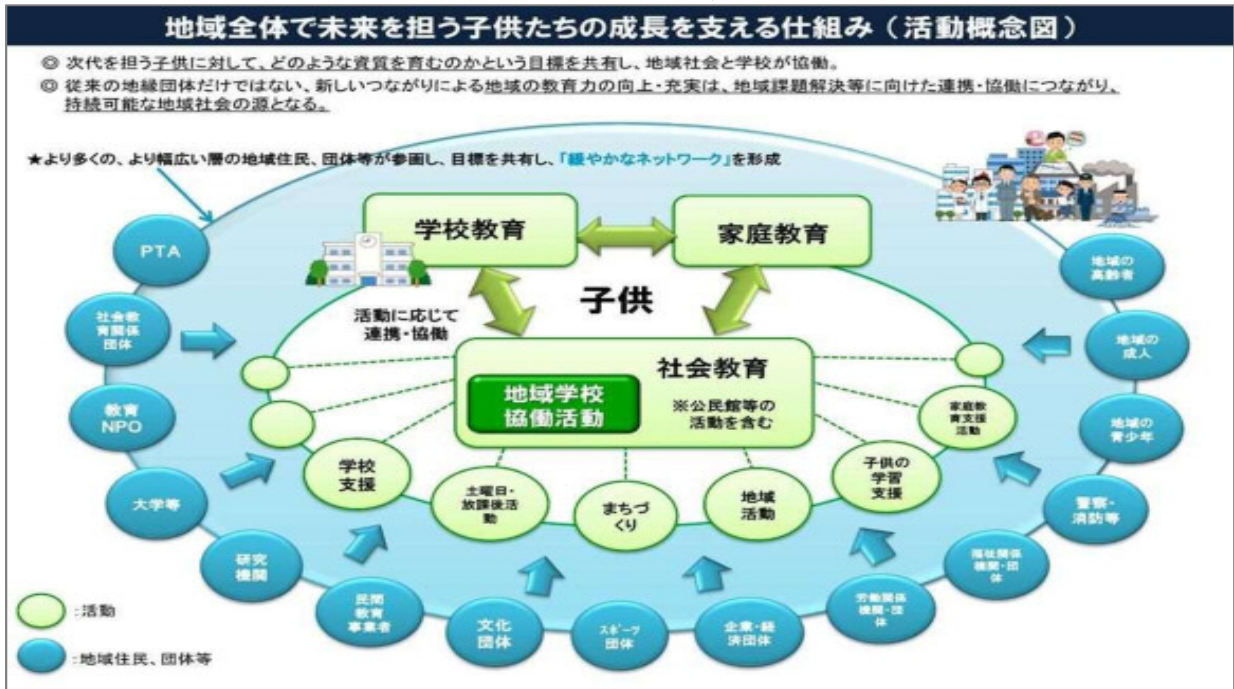
最後に、本冊子作成にあたり御協力いただきました各市町の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

平成30年3月

愛知県教育委員会

＜地域学校協働活動について＞

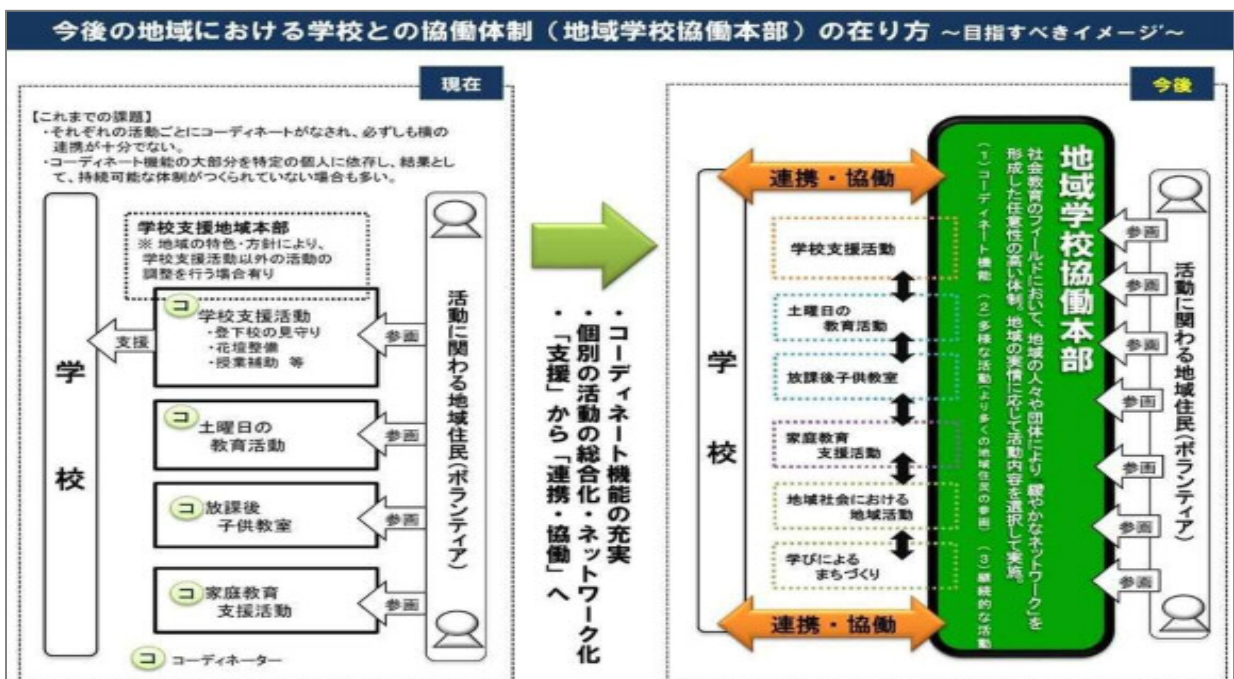
「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。



「地域学校協働本部」とは、従来の学校支援地域本部等の地域と学校の連携体制を基盤として、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制として、平成27年の中教審の答申で提言されたものです。

なお、連携の体制は様々な形態があり得るため、地域学校協働本部について法律上の規定はありませんが、改正後の社会教育法の第5条及び第6条の規定では、教育委員会が地域学校協働活動の機会を提供するに当たって、地域住民等と学校の連携協力体制の整備が求められており、地域学校協働本部の立ち上げ支援もその取組の一つです。

地域学校協働本部の整備にあたっては、従来の学校支援地域本部等を基盤として、地域による学校の「支援」から、地域と学校双方向の「連携・協働」を推進し、「個別」の活動から「総合化・ネットワーク化」へと発展させていくことを前提とした上で、①コーディネート機能、②多様な活動（より多くの地域住民等の参画による多様な地域学校協働活動の実施）、③継続的な活動（地域学校協働活動の継続的・安定的実施）、の3要素を必須とすることが重要です。



「地域学校協働活動推進員」は、社会教育法第9条の7において、教育委員会の施策に協力して、地域と学校との情報共有や活動を行う地域住民等への助言などを行うものとされています。

平成29年3月の社会教育法の改正により、従来の学校支援地域本部や放課後子供教室等の活動において、地域住民等と学校との連絡調整を行う「地域コーディネーター」や、地域コーディネーター間の連絡調整等を行う「統括コーディネーター」を、新たに「地域学校協働活動推進員」として教育委員会が委嘱することが可能になり、法律に位置付けられた存在として、地域学校協働活動の推進に関わっていただくことができるようになりました。

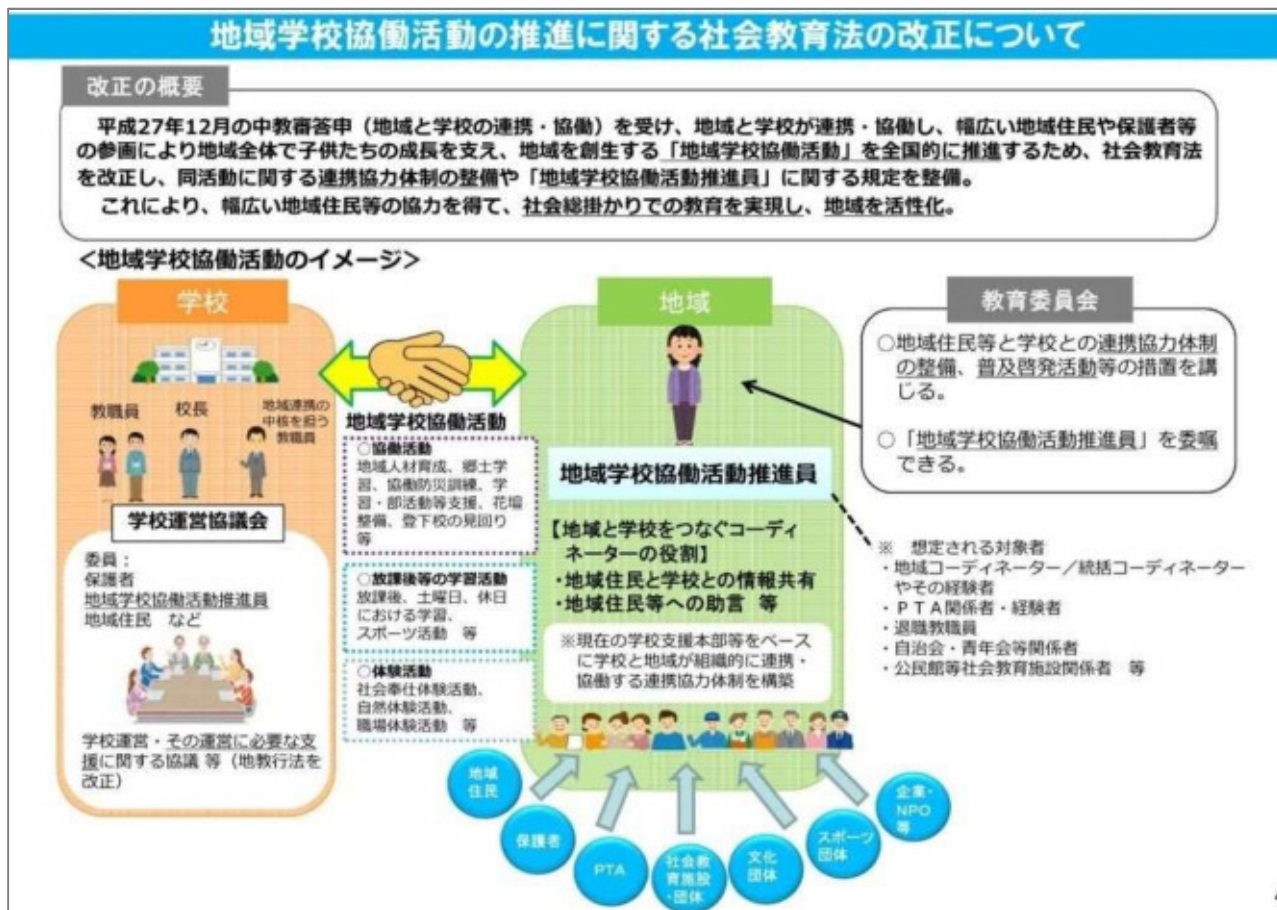
各地域で既にこうしたコーディネーターが活動されている場合は、社会教育法改正の趣旨を踏まえ、円滑かつ効果的に地域学校協働活動が推進されるよう、コーディネーターとして委嘱・依頼している方を地域学校協働活動推進員として改めて委嘱していただくなど、できるだけ速やかに推進員制度の活用について検討していただくことが望まれます。

<地域学校協働活動推進員に期待される役割>

- ・ 地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案
- ・ 学校や地域住民、企業・団体・機関等の関係者との連絡・調整
- ・ 地域ボランティアの募集・確保
- ・ 地域学校協働本部の事務処理・経費処理
- ・ 地域住民への情報提供・助言・活動促進 等

<地域学校協働活動推進員に望まれる資質・能力>

- ・ 地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する
- ・ 地域学校協働活動への深い関心と理解がある
- ・ 地域の住民、団体、機関等の関係者を良く理解している
- ・ 学校の実情や教育方針への理解がある
- ・ 地域住民や学校、行政関係者等と協力して活動を円滑に進めることができるコミュニケーション能力があり、関係者を説得し、人を動かす力がある
- ・ 地域課題についての問題提起、整理、解決先の構築等を仲間と共に進めることができるファシリテート能力にたけている 等



<平成29年度 愛知県地域学校協働本部推進会議 実施要項>

1 目的

幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、子供たちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進するため、地域学校協働活動施策について総合的に協議する「愛知県地域学校協働本部推進会議」を設置する。

また、「地域学校協働本部」の整備を推進するため、地域と学校をつなぐコーディネーターの配置拡大、機能強化を目指した「地域コーディネーター等研修会」を開催する。

2 内容

(1) 愛知県地域学校協働本部推進会議の設置（年4回）

本県の地域学校協働本部の状況を把握したり、学識経験者、学校教育・社会教育団体等の関係者の意見を聞いたりすることで、地域学校協働活動施策の今後の方向性について総合的に協議する。

※ 委員17人程度

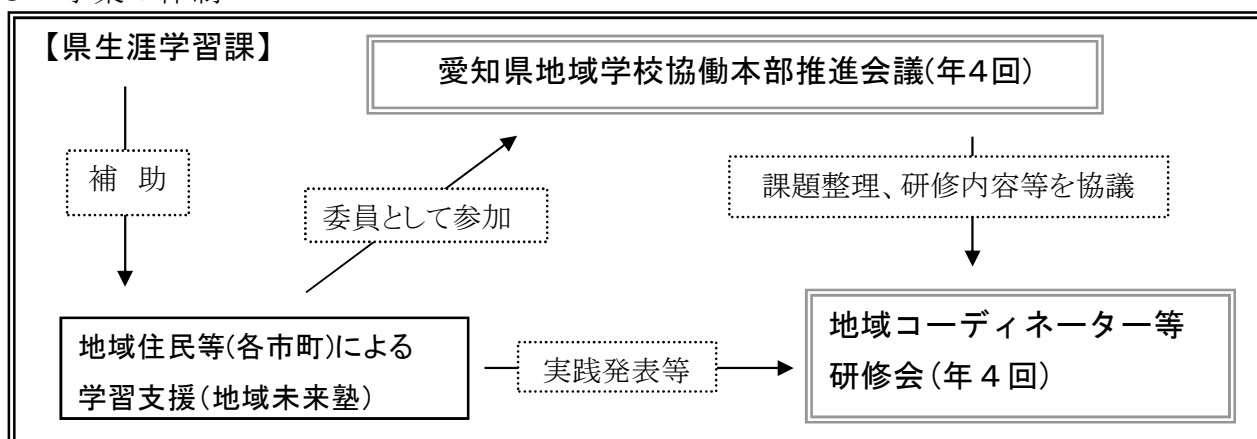
(2) 地域コーディネーター等研修会の開催（年4回）

学校と地域の連携・協働を推進する地域コーディネーターとしての力量向上を図るとともに、「地域学校協働活動」を広く周知し、地域で学校支援する仕組みづくりを促進するとともに、地域の教育力の向上を図る。

※ 参加者 50人程度

（地域コーディネーター、行政職員、公民館職員、学校教職員 等）

3 事業の体制



4 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

＜平成29年度 愛知県地域学校協働本部推進会議＞

- 1 第1回 平成29年5月26日（金） 於 愛知県三の丸庁舎 B104会議室
「地域と学校の協働の推進について」
 - ・ 本県において、地域と学校の協働の取組が、十分に進んでいない原因について
 - ・ 地域と学校の協働を推進するために、県教育委員会に期待されていること、県教育委員会が果たすべき役割について
- 2 第2回 平成29年9月8日（金） 於 愛知県生涯学習推進センター 研修室A
 - (1) 地域と学校の協働の推進について（地域学校協働活動の充実・拡大のための課題整理①）
 - ・ 地域と学校の協働を推進するために、どのような事業内容を協働活動として取り組むことが有効と考えられるか。
（学識経験者、コーディネーター、行政職員、学校関係者、それぞれの立場から）
 - (2) 「地域学校協働活動の推進に向けて（仮題）」について
（平成29年度地域学校協働本部推進事業報告書）
 - ・ どのような内容を取り入れていくと、関係者にとって参考となり、地域学校協働活動推進のための資料となるか。
- 3 第3回 平成29年11月10日（金） 於 愛知県生涯学習推進センター 研修室A
 - (1) 地域と学校の協働の推進について（地域学校協働活動の充実・拡大のための課題整理②）
 - ・ 地域と学校の協働を推進するために、それぞれ（行政、学校、地域、コーディネーター）がお互いに対して、どのようなはたらきかけをすることが必要と考えられるか。
 - (2) 地域学校協働活動の推進に向けて（具体的なはたらきかけとしての作成物について）
 - ・ 県のはたらきかけとして、どのような内容をまとめていくと、関係者にとって参考となり、地域学校協働活動推進のための資料となるか。
- 4 第4回 平成30年2月9日（金） 於 愛知県生涯学習推進センター 研修室A
 - (1) 今年度の取組について
 - ・ 今年度の本課の取組は、地域学校協働活動の推進につながるものであったか。
（今年度の成果と課題について）
 - (2) 次年度の取組について
 - ・ 地域学校協働活動を一層、充実させるために、次年度、本課にはどのような取組をすすめていくことが求められているのか。

＜平成29年度 地域コーディネーター等研修会＞

- 1 目的
 - ・ 地域学校協働活動の推進に向けて、学校と地域の連携・協働を推進する地域コーディネーターとしての力量向上を図る。
 - ・ 「地域学校協働本部推進事業」は、子供たちの学びを支援するだけでなく、地域住民の生涯学習・自己実現に資するものである。そのことを広く周知することで、地域で学校支援する仕組みづくりを促進するとともに、地域の教育力の向上を図る。
- 2 対象者
地域コーディネーター、行政職員、公民館職員、学校教職員 等
- 3 研修日程
※ 別紙のとおり

平成29年度 地域コーディネーター等研修会 研修日程

日付	内 容	会 場
7月10日(月)	<p style="text-align: center;">学校と地域の連携・協働に関する基礎知識</p> <p>目的: 子供をとりまく現状から、学校と地域の連携・協働の意義や取組を知る</p> <p>13:15 - 14:15 (講義) 「学校と地域の連携・協働の意義」 講師: 愛知教育大学 教授・副学長 大村 恵 氏</p> <p>14:30 - 16:00 (講義) 「地域学校協働活動、放課後子ども教室、土曜日の教育支援活動について」 講師: 愛知県教育委員会生涯学習課 担当(三矢克之)</p>	西三河 総合庁舎
7月19日(水)	<p style="text-align: center;">地域コーディネーターの役割と具体的な方法を考える①</p> <p>目的: 地域学校協働活動(地域未来塾)の実際を学び、地域コーディネーターの役割を考える</p> <p>10:15 - 11:45 (講義) 「地域学校協働活動における地域コーディネーターの実際」 講師: 津島市立神守中学校地域学校協働本部 豆ボラ神守本部長 城 和彦 氏 講師: 津島市立神守中学校地域学校協働本部 豆ボラ神守コーディネーター 山口良子 氏</p> <p>13:00 - 15:00 (事例発表) 「地域学校協働活動(地域未来塾)の取組」 事例: 常滑市教育委員会学校教育課 主事 小出直輝 氏 事例: 田原市教育委員会学校教育課 共育コーディネーター 藤城信幸 氏</p> <p>15:00 - 16:00 (グループワーク) 「地域学校協働活動(地域未来塾)における地域コーディネーターの役割を考える」 講師: 愛知学院大学 准教授 榊原博美 氏</p>	西三河 総合庁舎
7月26日(水)	<p style="text-align: center;">地域コーディネーターの役割と具体的な方法を考える②</p> <p>目的: 地域学校協働活動の実際を学び、地域コーディネーターの役割を考える</p> <p>10:15 - 11:45 (講義) 「地域コーディネーターの使命・役割について」 講師: 北名古屋市教育委員会 学校教育課教育指導員 水田就教 氏 講師: 北名古屋市生涯学習課 地域学校協働本部統括コーディネーター 河口三知栄 氏</p> <p>13:00 - 15:00 (事例発表) 「地域学校協働活動の取組(県外2実践)」 事例: 滋賀県蒲生郡 竜王町学校支援地域本部 竜王町公民館長 関川雅之 氏 事例: 奈良県奈良市教育委員会 地域教育課 地域学校連携推進員 太田淳子 氏</p> <p>15:00 - 16:00 (グループワーク) 「地域学校協働活動における地域コーディネーターの役割を考える」 講師: 愛知教育大学 准教授 中山弘之 氏</p>	生涯学習 推進センター
8月4日(金)	<p style="text-align: center;">私がコーディネートする地域学校協働活動の計画づくり</p> <p>目的: 自分がコーディネートする地域学校協働活動を計画し、研修をふりかえる</p> <p>13:05 - 13:20 (講義) 「ここまでの研修のふりかえり」 講師: 愛知県教育委員会生涯学習課 担当(三矢克之)</p> <p>13:20 - 15:00 (グループワーク) 「“わがまち”の地域学校協働活動」</p> <p>15:15 - 15:45 (まとめ) 「地域学校協働活動をコーディネートしよう」 講師: 愛知教育大学 教授・副学長 大村 恵 氏</p>	愛知県 自治センター